

平成30年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	学び合い人と文化を育むまち
基本方針	生涯を通じて学び合うまち
基本施策名	生涯学習の推進

	所属	職名	氏名
作成者	文化課	課長	那須野 雅好
評価者	教育部	部長	西村 康正

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	三郷交流学習センターが平成30年3月10日にオープンし、本市の図書館を核とした交流学习施設の整備は終了しました。また、これらの施設が「情報センター」として質の高い機能を有することをめざし、図書館資料の充実や図書館司書の資質向上に努めています。
基本方針 (目指すべき方向性)	生涯学習を通じて、自ら学び挑戦する心を育み、学んだ知識や技術が地域社会に活かされる環境づくりを進めます。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H28	H29	H30	達成率	進捗状況	所管課
生涯学習講座参加者数	人		23,000			22,339	97.1	停滞	生涯学習課
図書館利用者数	人		228,000			233,119	102.2	順調	文化課

施策指標の進捗状況と分析	平成30年3月に三郷図書館が開館し、市内5図書館の施設整備が概ね終了しました。平成29年度の実績は、95.2%と昨年より1%増にとどまりましたが、新三郷図書館の開館によりさらに利用者数の増加が見込まれます。
--------------	---

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況					重点化	
				H28	H29	H30	H31	R 2	合計	事業区分	新/継	終期	方向性	正規職員数		
1	0110625	交流学习センター等管理費	図書館交流担当	63,257,563	64,645,636	71,141,088				199,044,287	施設の管理運営	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	3	
2	0110630	交流学习センター等事業費	図書館交流担当	5,409,692	6,653,005	4,307,354	4,767,000	4,767,000	25,904,051	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	1.88		
3	0110790	図書館管理運営費	図書館交流担当	113,626,623	113,852,260	117,089,382				344,568,265	定型業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	2.53	
4	0110795	図書館資料収集事業	図書館交流担当	42,931,093	46,288,380	44,836,994	36,200,000	36,200,000	206,456,467	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	0.68		
5	0110800	図書館サービス事業	図書館交流担当	4,013,004	4,560,844	4,113,831	5,597,000	5,446,000	23,730,679	政策的業務	継続	期限なし	現状のまま実施することが適切	0.54		
6	0110802	明科図書館IC化事業	図書館交流担当			6,245,964				6,245,964	政策的業務	新規	平成30	現状のまま実施することが適切	0.09	
合計				229,237,975	236,000,125	247,734,613	46,564,000	46,413,000	805,949,713							

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	第2次図書館基本計画策定における市民・利用者アンケートでは、「自動貸出機の使いやすさ」「予約・リクエストサービス」「職員の接遇」などで高い評価をいただきました。また、本市の平成28年度の市民一人あたりの貸出数は8.0冊で塩尻市(9.7)に次ぎ県下19市で2番目となっています。また、一人あたり蔵書数は、4.2冊であり、19市では12番目となっています。貸出数を蔵書数で除した図書回転率は、193%で小諸市に次ぎ2番目で、効率的な運営であると考えています。
重点化事務事業の考え方	第2次図書館基本計画に基づき、市民が生涯学習を進める上で、質の高い情報を提供できる「学習センター」「情報センター」「文化センター」としての図書館の充実を図ります。また、子どもから高齢者まで、本と触れ合う機会を増やすとともに、市民と市民が、本を通して出会う機会の充実を図ります。
縮減・廃止事務事業の考え方	市民の財産である図書館資料について、市民への有益・有効な提供を図るため複本の持ち方や収集方法などを定める「安曇野市選書の在り方ガイドライン」を見直し、効率的な資料収集を進める必要があります。
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出)	複合施設である市の図書館の特徴を生かし、交流学习施設と連携した図書館サービスを提供するとともに、地域性を生かした、特色のある各図書館の蔵書、運営を図っていく必要があります。